



2024年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月9日

上場会社名 株式会社アカツキ 上場取引所 東
コード番号 3932 URL https://aktsk.jp/
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 香田 哲朗
問合せ先責任者 (役職名) CFO (氏名) 米島 慶一 TEL 03 (5422) 7757
定時株主総会開催予定日 2024年6月25日 配当支払開始予定日 2024年6月26日
有価証券報告書提出予定日 2024年6月26日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家及びアナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の連結業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	23,972	△1.5	2,676	△53.0	2,834	△45.6	1,288	△4.0
2023年3月期	24,336	△7.4	5,700	△23.5	5,207	△33.8	1,342	△74.2

(注) 包括利益 2024年3月期 1,426百万円 (0.4%) 2023年3月期 1,420百万円 (△73.4%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	104.01	101.07	3.3	5.4	11.2
2023年3月期	98.97	96.07	3.5	10.5	23.4

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 ー百万円 2023年3月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	52,043	40,211	76.8	2,773.05
2023年3月期	53,156	38,752	72.7	2,842.89

(参考) 自己資本 2024年3月期 39,983百万円 2023年3月期 38,642百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	△84	△77	△3,232	30,864
2023年3月期	5,047	1,191	4,937	33,971

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	ー	40.00	ー	40.00	80.00	1,091	80.8	2.8
2024年3月期	ー	40.00	ー	40.00	80.00	1,041	76.9	2.9
2025年3月期(予想)	ー	40.00	ー	ー	ー	ー	ー	ー

(注) 1. 2024年3月期における1株当たり期末配当金については、未定から40円に変更しており、2025年3月期の中間配当金については40円としております。詳細については、本日(2024年5月9日)公表いたしました「配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 2025年3月期の期末配当につきましては、現時点で業績予想が困難であることから未定としております。

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

当社グループは、ゲーム事業の短期的な事業環境が激しく変化する不確定要素が多いことに加え、コミック事業についても積極的に挑戦していく方針であり、適正かつ合理的な数値の算出が非常に困難であります。そのため、今後につきましては、四半期毎の決算や事業の概況の適時な開示に努めることにより、通期の業績予想については開示しない方針とさせていただきます。詳細につきましては、添付資料P4「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期	14,516,100株	2023年3月期	14,143,600株
② 期末自己株式数	2024年3月期	97,463株	2023年3月期	550,805株
③ 期中平均株式数	2024年3月期	12,390,315株	2023年3月期	13,562,222株

(注) 1. 株式給付信託（J-ESOP）により信託口が保有する当社株式（2024年3月期：32,156株、2023年3月期：50,077株）を、自己株式に含めて記載しております。
2. 株式給付信託（J-ESOP）により信託口が保有する当社株式（2024年3月期：37,552株、2023年3月期：60,966株）を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式数に含めて記載しております。

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年3月期の個別業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	22,792	△10.2	5,812	△18.1	4,459	△34.3	3,454	△3.8
2023年3月期	25,382	△1.5	7,097	△2.8	6,789	△9.7	3,589	△27.1

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期	278.79	270.91
2023年3月期	264.66	256.93

(注) 株式給付信託（J-ESOP）により信託口が保有する当社株式を、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております（2024年3月期：37,552株、2023年3月期：60,966株）。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	52,890	43,872	82.6	3,028.22
2023年3月期	53,249	40,300	75.5	2,957.87

(参考) 自己資本 2024年3月期 43,662百万円 2023年3月期 40,205百万円

(注) 株式給付信託（J-ESOP）により信託口が保有する当社株式を、1株当たり純資産の算定上、事業年度末の発行済株式総数から控除する自己株式に含めております（2024年3月期：32,156株、2023年3月期：50,077株）。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料における将来の見通しに関する記述・言明は、当社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、当社は将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法について)

決算説明資料は2024年5月9日に当社WEBサイトに掲載いたします。

また当社は2024年5月10日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(セグメント情報)	14
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、雇用や所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待されております。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクに十分注意する必要があります。

そのような状況の中、当社グループが属するゲーム業界を取り巻く環境につきましては、2023年の世界のゲーム市場の収益はマクロ経済が厳しい状況にもかかわらず、前年比で2.6%増加の1,877億ドルと予測されており、その中でも最も大きな割合を占めているモバイルゲームにつきましては前年比0.8%増の926億ドルの市場規模へ成長することが見込まれております。また、2026年までに世界のゲーム市場の収益は2,124億ドルに成長することが見込まれているため、引き続きグローバルで成長し続ける業界であると考えられております。(出典:Newzoo「Global Games Market Forecast」)

また、前連結会計年度において当社グループが新規参入したコミック事業を取り巻く環境につきましては、国内の2023年コミック市場全体で前年比2.6%増の6,937億円と過去最高を更新しております。その中でも電子コミック市場は巣ごもり需要終息の影響で伸び率は縮小しているものの、前年比7.8%増の4,830億円と成長しております。

(出典:公益社団法人全国出版協会「出版指標」)さらに、当社グループが提供を始めた縦読みフルカラーコミック「ウェブトゥーン」の世界市場は、2029年に約3兆円規模にまで成長すると予想されております。(出典:QYResearch)

このような環境の中、当社グループは今後、さらなる成長を加速させるため、責任と権限を一体化して事業を運営するベンチャーグループを目指し、前連結会計年度においてゲーム事業とコミック事業の分社化及びDawn Capital 1号投資事業有限責任組合の組成等を進め、国内市場に閉じたプロジェクトへの事業投資を凍結し、グローバルポテンシャルを持つ大型プロジェクトへ集中投資することで、長期間の継続運営で大きなリターンを目指してまいりました。当社グループの主力事業であるゲーム事業では、既存タイトルの堅実な運用の下でも収益の落ち込みがあった他、3D×マルチデバイス×多言語を見据えた大型プロジェクトにリソースの大部分を集中させ、新規開発タイトルへの積極的な投資を進めてまいりました。また、コミック事業では当初予算内で検証フェーズを継続し、作品制作および他社プラットフォームでの販売強化を優先する方針のなか、有名クリエイターとの協業によるオリジナル作品の制作を進めてまいりました。また、2023年12月には株式会社NTTドコモが主体となる海外向け電子コミック配信サービスの提供に向けた業務提携契約を締結し、2024年秋に米国でのサービス提供開始を目指しております。

さらに、2023年12月には更なるゲーム開発力の強化、海外マーケティング力の強化、協業による新たなコンテンツの創出等を主たる目的とし、当社グループとしてグローバルへの挑戦を加速すべく、ソニーグループ株式会社(以下「ソニーグループ」という。)及び株式会社コーエーテックモホールディングス(以下「コーエーテックモホールディングス」という。)に対して自己株式処分による資本提携を行うとともに、両社と以下の内容の業務提携の合意に至りました。

①ソニーグループ

当社グループが現在開発中及び今後開発するモバイルゲームの海外市場展開や新たなIP及びコンテンツの共同制作・開発などの領域での協業に向け、ソニーグループ及びその企業集団との更なる関係構築を進め、今後新たな事業機会の創出を図ってまいります。

②コーエーテックモホールディングス

当社グループで既に進捗しているゲームプロジェクトに加え、下記3点においてコーエーテックモグループとの更なる関係構築を進め、今後新たな事業機会の創出を図ってまいります。

- A) マルチデバイス次世代運営型ゲームの開発・運用による協業
- B) 運営型ゲームのグローバル展開、マーケティング、パブリッシングによる協業
- C) 新たなIP、コンテンツ、サービスにおける協業

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高23,972百万円(前期比1.5%減)、営業利益2,676百万円(前期比53.0%減)、経常利益2,834百万円(前期比45.6%減)、親会社株主に帰属する当期純利益1,288百万円(前期比4.0%減)となっております。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(ゲーム事業)

当社グループのゲーム事業につきましては、より高いクオリティとユーザー体験にこだわり、タイトルを厳選して開発・運用していく方針の下、既存タイトルの堅実な運用と、3D×マルチデバイス×多言語を見据えた大型プロジェクトにリソースの大部分を集中させ、新規開発タイトルへの積極的な投資を進めてまいりました。主力タイトルである株式会社バンダイナムコエンターテインメントとの協業タイトル「ドラゴンボールZ ドッカンバトル」につきましては、国内版・海外版ともに周年等の大型イベントが盛況で、ストアセールスランキング(注)1位を複

数回獲得しました。また、株式会社スクウェア・エニックスとの協業タイトル「ロマンシング サガ リ・ユニバース」では、周年や3,000万DL記念、佐賀県とのコラボなどのイベントが盛況で、コアファンを惹きつける長期目線での安定運営を継続してまいりました。また、新規タイトルにつきましては、株式会社コーエーテクモゲームスとの協業タイトル「レスレリアーナのアトリエ ～忘れられた錬金術と極夜の解放者～」の国内モバイル版が2023年9月にリリースされ、ストアセールスランキング10位以内を複数回獲得したほか、Steam®版及び海外モバイル版を2024年1月にリリースし、国内Steam®版では週間ストアセールスランキング6位を獲得するなど順調な滑り出しとなりました。

しかしながら、前年6月に櫻坂46・日向坂46応援[公式]音楽アプリ「UNI'S ON AIR (ユニゾンエアー)」の運営体制変更等、ポートフォリオの見直しをおこなった影響や、新規タイトルへの投資が進捗したことを受けて、前年同期比では減収・減益となりました。

この結果、当連結会計年度においては、売上高22,485百万円（前期比5.7%減）、セグメント利益4,058百万円（前期比48.5%減）となっております。

(注) ストアセールスランキング：App Store またはGoogle Playのセールスランキング

(コミック事業)

当社グループのコミック事業につきましては、当初予算内で引続き検証フェーズを継続し、作品制作および他社プラットフォームでの販売強化を優先する方針のなか、有名クリエイターと協業によるオリジナル作品の制作に注力し、複数タイトルの連載を開始するなど積極的な投資を行っております。また、オリジナル作品の他社プラットフォームへの展開の推進に伴って、作品の販売が堅調に推移し売上高が伸長しております。

この結果、当連結会計年度においては、売上高759百万円（前期比191.0%増）、セグメント損失415百万円（前期はセグメント損失988百万円）となっております。

(その他)

当社グループのその他事業等はIP事業等が含まれており、当連結会計年度においては、売上高727百万円（前期比213.4%増）、セグメント損失135百万円（前期はセグメント損失565百万円）となっております。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末の総資産につきましては、前連結会計年度末に比べて1,112百万円減少し52,043百万円となりました。主な要因として、売掛金の増加1,354百万円及び投資その他の資産におけるその他の増加922百万円があった一方で、現金及び預金の減少3,106百万円によるものであります。

(負債)

当連結会計年度末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べて2,571百万円減少し、11,832百万円となりました。主な要因として、買掛金の増加564百万円及びその他固定負債の増加555百万円があった一方で、社債（1年内償還予定の社債を含む）の減少1,000百万円、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）の減少2,100百万円及び未払法人税等の減少1,199百万円によるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末の純資産は、前連結会計年度末に比べて1,459百万円増加し40,211百万円となりました。主な要因として、親会社株主に帰属する当期純利益の計上1,288百万円、自己株式の取得及び処分等の影響による自己株式の減少1,701百万円があった一方で、剰余金の配当1,009百万円によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ3,106百万円減少し30,864百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において、営業活動の結果支出した資金は84百万円（前連結会計年度は5,047百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益2,212百万円があった一方で、法人税等の支払額2,298百万円の計上があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において、投資活動の結果支出した資金は77百万円(前連結会計年度は1,191百万円の支出)となりました。これは主に、投資有価証券の売却及び償還による収入1,402百万円があった一方で、投資有価証券の取得による支出1,259百万円、有形固定資産の取得による支出162百万円及び無形固定資産の取得による支出79百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において、財務活動の結果支出した資金は3,232百万円(前連結会計年度は4,937百万円の獲得)となりました。これは主に、自己株式の売却による収入5,360百万円があった一方で、社債の償還による支出1,000百万円、長期借入金の返済による支出2,200百万円、自己株式の取得による支出4,489百万円及び配当金の支払による支出1,009百万円があったことによるものであります。

(4) 今後の見通し

2025年3月期以降につきましては、今後もゲーム事業を軸として、国内展開だけでなく、海外展開についてもこれまで以上に推進してまいります。

具体的には、ゲーム事業において、既存タイトルでは、ゲーム外でのIPの動きに合わせた運営によってユーザー利用を活性化し、引続きLTV最大化を目指して運用してまいります。また、新規タイトルでは、開発費及び初期プロモーション費の増加が見込まれるものの、次世代のゲーム体験を牽引する3Dを含む新技術の研究・開発に投資することにより、中長期的な成長を狙ってまいります。

また、コミック事業につきましては、当初予算内での検証フェーズを継続する方針となります。ウェブトゥーンアプリ「HykeComic」は立ち上げ期を過ぎ、運用コストの効率化を行っていくことに加え、オリジナル作品の製作・販売については引き続き積み上げてまいります。また海外事業の開始に向けた準備に注力していくことにより、将来の更なる成長を目指してまいります。

以上を踏まえた2025年3月期の業績見通しにつきましては、ゲーム事業の短期的な事業環境が激しく変化する不確定要素が多いことに加え、コミック事業についても積極的に投資していく方針であり、適正かつ合理的な数値の算出が非常に困難であるため、開示しない方針とさせていただきます。

なお、業績見通しが適正かつ合理的に算出できる状況になりましたら、適時に開示する方針でございます。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	34,071	30,964
売掛金	2,898	4,252
契約資産	1,042	771
仕掛品	267	626
その他	2,585	2,767
流動資産合計	40,864	39,383
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	812	739
減価償却累計額	△265	△364
建物及び構築物 (純額)	546	374
工具、器具及び備品	359	451
減価償却累計額	△252	△291
工具、器具及び備品 (純額)	106	160
その他	11	7
減価償却累計額	△10	△7
その他 (純額)	0	0
有形固定資産合計	653	534
無形固定資産		
ソフトウェア	9	5
その他	0	0
無形固定資産合計	10	6
投資その他の資産		
投資有価証券	10,889	10,474
繰延税金資産	65	49
その他	672	1,594
投資その他の資産合計	11,627	12,118
固定資産合計	12,291	12,659
資産合計	53,156	52,043

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	623	1,188
1年内償還予定の社債	1,000	1,000
1年内返済予定の長期借入金	2,200	—
未払法人税等	1,265	65
契約負債	98	443
賞与引当金	331	335
株式給付引当金	62	—
その他	1,766	2,088
流動負債合計	7,348	5,121
固定負債		
社債	3,000	2,000
長期借入金	4,000	4,100
その他	54	610
固定負債合計	7,054	6,710
負債合計	14,403	11,832
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,777	2,779
資本剰余金	2,776	2,778
利益剰余金	34,746	34,243
自己株式	△1,963	△261
株主資本合計	38,338	39,540
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	160	273
為替換算調整勘定	144	169
その他の包括利益累計額合計	304	442
新株予約権	94	209
非支配株主持分	14	18
純資産合計	38,752	40,211
負債純資産合計	53,156	52,043

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	24,336	23,972
売上原価	9,984	10,478
売上総利益	14,352	13,494
販売費及び一般管理費	8,651	10,817
営業利益	5,700	2,676
営業外収益		
受取利息	29	51
為替差益	80	375
暗号資産売却益	58	5
その他	29	50
営業外収益合計	197	482
営業外費用		
支払利息	39	45
社債発行費	25	—
出資金運用損	224	—
投資事業組合運用損	121	155
暗号資産評価損	279	111
その他	1	12
営業外費用合計	690	325
経常利益	5,207	2,834
特別利益		
事業譲渡益	211	—
投資有価証券売却益	114	253
特別利益合計	326	253
特別損失		
固定資産除却損	—	16
投資有価証券評価損	1,693	679
投資有価証券清算損	—	21
事業譲渡損	1	—
減損損失	63	157
特別損失合計	1,757	874
税金等調整前当期純利益	3,776	2,212
法人税、住民税及び事業税	2,172	956
法人税等調整額	262	△32
法人税等合計	2,435	924
当期純利益	1,340	1,288
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△1	△0
親会社株主に帰属する当期純利益	1,342	1,288

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	1,340	1,288
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	22	113
為替換算調整勘定	57	25
その他の包括利益合計	79	138
包括利益	1,420	1,426
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,421	1,427
非支配株主に係る包括利益	△1	△0

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,773	2,772	34,499	△2,061	37,984
当期変動額					
新株の発行	4	4			9
剰余金の配当			△1,089		△1,089
親会社株主に帰属する当期純利益			1,342		1,342
連結範囲の変動			△5		△5
自己株式の取得				△36	△36
自己株式の処分				134	134
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	4	4	247	97	354
当期末残高	2,777	2,776	34,746	△1,963	38,338

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	137	86	224	27	—	38,236
当期変動額						
新株の発行						9
剰余金の配当						△1,089
親会社株主に帰属する当期純利益						1,342
連結範囲の変動						△5
自己株式の取得						△36
自己株式の処分						134
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	22	57	79	66	14	161
当期変動額合計	22	57	79	66	14	515
当期末残高	160	144	304	94	14	38,752

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,777	2,776	34,746	△1,963	38,338
当期変動額					
新株の発行	1	1			3
剰余金の配当			△1,009		△1,009
親会社株主に帰属する当期純利益			1,288		1,288
自己株式の取得				△4,484	△4,484
自己株式の処分		△782		6,186	5,403
自己株式処分差損の振替		782	△782		—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	1	1	△503	1,701	1,202
当期末残高	2,779	2,778	34,243	△261	39,540

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	160	144	304	94	14	38,752
当期変動額						
新株の発行						3
剰余金の配当						△1,009
親会社株主に帰属する当期純利益						1,288
自己株式の取得						△4,484
自己株式の処分						5,403
自己株式処分差損の振替						—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	113	25	138	114	3	256
当期変動額合計	113	25	138	114	3	1,459
当期末残高	273	169	442	209	18	40,211

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	3,776	2,212
減価償却費	148	173
賞与引当金の増減額 (△は減少)	80	△0
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	△130	△62
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△24	—
事業譲渡損益 (△は益)	△210	—
固定資産除却損	—	16
投資有価証券清算損	—	21
投資有価証券評価損益 (△は益)	1,693	679
投資有価証券売却損益 (△は益)	△114	△253
暗号資産評価損益 (△は益)	279	111
暗号資産売却損益 (△は益)	△58	△5
減損損失	63	157
受取利息及び受取配当金	△29	△59
支払利息	39	45
社債発行費	25	—
為替差損益 (△は益)	△101	△424
出資金運用損益 (△は益)	224	△1
投資事業組合運用損益 (△は益)	121	155
売上債権の増減額 (△は増加)	1,894	△1,353
契約資産の増減額 (△は増加)	△507	270
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△217	△359
その他の資産の増減額 (△は増加)	△676	△1,038
仕入債務の増減額 (△は減少)	△326	563
契約負債の増減額 (△は減少)	△276	344
その他の負債の増減額 (△は減少)	954	815
その他	59	190
小計	6,686	2,198
利息及び配当金の受取額	29	59
利息の支払額	△39	△45
法人税等の支払額	△1,629	△2,298
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,047	△84
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,407	—
定期預金の払戻による収入	4,550	—
有形固定資産の取得による支出	△49	△162
無形固定資産の取得による支出	△7	△79
貸付けによる支出	—	△25
貸付金の回収による収入	20	—
投資有価証券の取得による支出	△2,242	△1,259
投資有価証券の売却及び償還による収入	457	1,402
暗号資産の取得による支出	△364	—
その他	234	46
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,191	△77

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債の発行による収入	1,974	—
社債の償還による支出	—	△1,000
長期借入れによる収入	4,000	100
長期借入金の返済による支出	△8	△2,200
株式の発行による収入	9	0
新株予約権の発行による収入	18	—
非支配株主からの払込みによる収入	16	4
自己株式の売却による収入	15	5,360
自己株式の取得による支出	—	△4,489
配当金の支払額	△1,088	△1,009
その他	0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,937	△3,232
現金及び現金同等物に係る換算差額	△27	289
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	11,149	△3,106
現金及び現金同等物の期首残高	22,624	33,971
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	196	—
現金及び現金同等物の期末残高	33,971	30,864

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは事業活動の特徴を考慮した経営管理上の区分に基づき、事業セグメントを集約したうえで、「ゲーム事業」、「コミック事業」の2つを報告セグメントとしております。

「ゲーム事業」は、主にモバイルゲームの企画、開発及び運営を行っております。

「コミック事業」は、縦読みフルカラーコミックの企画、制作、配信及び「HykeComic」アプリの運営を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用している会計処理の方法と同一であります。報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部売上高又は振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報

I 前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
	ゲーム	コミック	計				
売上高							
顧客との契約から生じる収益	23,843	261	24,104	232	24,336	—	24,336
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	23,843	261	24,104	232	24,336	—	24,336
セグメント間の内部 売上高又は振替高	142	—	142	8	151	△151	—
計	23,985	261	24,247	240	24,487	△151	24,336
セグメント利益又は 損失(△)	7,887	△988	6,898	△565	6,333	△633	5,700
その他の項目							
減価償却費	139	0	139	1	141	7	148

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、IP事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△633百万円には、セグメント間取引消去14百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△648百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. セグメント資産の金額は、事業セグメントに資産を配分していないため記載しておりません。

Ⅱ 当連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
	ゲーム	コミック	計				
売上高							
顧客との契約から生 じる収益	22,485	759	23,245	727	23,972	—	23,972
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	22,485	759	23,245	727	23,972	—	23,972
セグメント間の内部 売上高又は振替高	44	5	49	27	77	△77	—
計	22,529	765	23,295	754	24,049	△77	23,972
セグメント利益又は 損失 (△)	4,058	△415	3,642	△135	3,506	△829	2,676
その他の項目							
減価償却費	162	1	164	1	165	7	173

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、IP事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△829百万円には、セグメント間取引消去22百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△851百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. セグメント資産の金額は、事業セグメントに資産を配分していないため記載しておりません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	2,842.89円	2,773.05円
1株当たり当期純利益	98.97円	104.01円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	96.07円	101.07円

(注) 1. 株式給付信託(J-ESOP)により信託口が保有する当社株式を、「1株当たり純資産額」の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式に含めております(前連結会計年度50,077株、当連結会計年度32,156株)。また、「1株当たり当期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり当期純利益」の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(前連結会計年度60,966株、当連結会計年度37,552株)。

2. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	1,342	1,288
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	1,342	1,288
普通株式の期中平均株式数(株)	13,562,222	12,390,315
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(百万円)	—	—
普通株式増加数(株)	408,280	360,657
(うち新株予約権(株))	(408,280)	(360,657)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	新株予約権2種類(新株予約権の数215,132個(普通株式217,310株))	新株予約権2種類(新株予約権の数214,442個(普通株式216,620株))

(重要な後発事象)

該当事項はありません。